

研究発表大会を開催しました

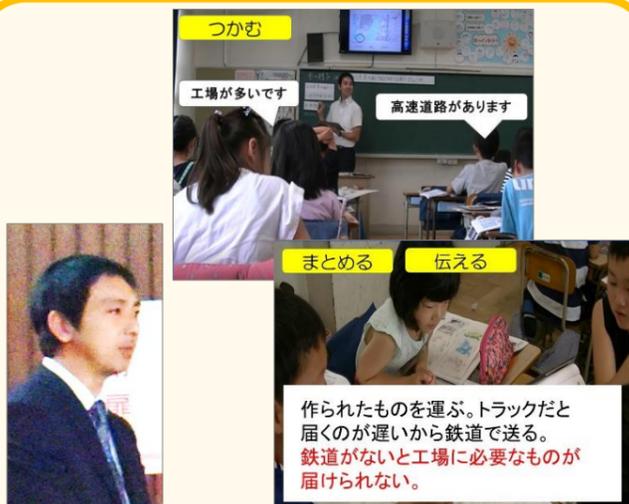
平成30年10月31日(水)、名古屋市教育館にて、名古屋市情報教育研究会研究発表大会、第50回愛知県学校視聴覚教育研究大会を開催しました。研究部の発表内容についてお知らせします。



「子どもたちの学びを深める情報教育」

ー主体的・対話的な学びを支える情報活用能力の育成ー

研究主題「子どもたちの学びを深める情報教育」を達成するために、今年度は、**思考力・判断力・表現力の伸長**に主眼を置き、主体的・対話的な学びを支える情報活用能力を高める授業づくりを進めています。

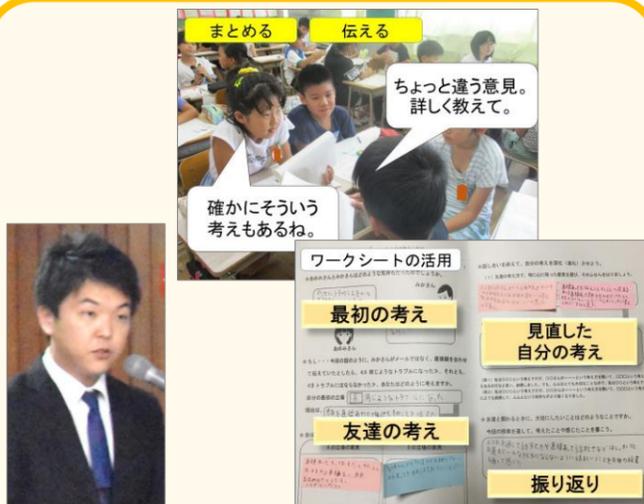


小3 社会「市の様子」

「名古屋港のあたりはどのような様子か」という課題に対して、名古屋港周辺の土地利用を表す地図を基に、話し合いを行い、気付いたことをまとめた。

ICTを活用して、「工場の多いところ」「土地の高低」「主な鉄道」「主な道路」を表す4種類の地図を重ね、その地図を基にした対話を通して、複数の情報を関連付けて考えたことで、子どもの考えを深めることができた。

発表者：大島 創平 (名東小)



小5 道徳「信頼し合える仲に」

教科書の題材「知らない間の出来事」にある、携帯電話によるトラブルについて扱った。

もし顔と顔を合わせて話していたらと考え、「トラブルになる」「トラブルにならない」という2つの立場に分かれ、それぞれの理由について話し合った。

自分の考えを付箋紙に書き、自分の考えと友達の考えとを比較することで、子どもの考えを深めることができた。

発表者：山本 貴之 (港西小)



小5 総合「言葉でのコミュニケーションの仕方を考えよう」

文部科学省作成の情報モラル動画を視聴し、「インターネット上でやりとりするとき気を付けることは」という課題に対して自分の考えをもった上で、対話を行った。

意見交流を通して、自分の考えと友達の考えとを比較する中で、情報を収集・整理することで、子どもの考えを深めることができた。

発表者：石川 幸大 (枇杷島小)

【成果】

- ・ 複数の情報の比較・関連付け
- ・ 付箋紙を活用した対話

→ 考えが深まった

複数の情報を比較したり、関連付けたりすることに重点を置き、付箋紙を活用して対話を行ったことで、子どもたちは、自分の考えを深めることができた。

アンケートから

- ・ 画像を重ね合わせるスキルは、教科横断的に、算数・数学でも利用できると感じた。
- ・ 「なかまなビジョン」と関連させ、授業作りを深めていける内容だった。
- ・ 「情報＝技術家庭科の先生が多い」と思っていたが、他教科の先生も多く、すべての教科等で活用できることが分かった。
- ・ 情報教育に関する実践や各種情報を便りやWebによって発信・広報している点はすばらしいと感じた。
- ・ プログラミング教育の具体的な指導方法や実践例を知りたい。

平成30年度 名古屋市教育研究派遣員 (情報教育)

沼山 泰幸 (桶狭間小)

「自分の気づきを基に、考えを広げることができる子どもの育成」

牧 邦彦 (宮根小)

「自分の考えを相手に分かりやすく伝えられる児童の育成」

中村 翔太 (砂田橋小)

「相手の話に耳を傾けることができる子どもの育成」



「名情研Web」のご案内 <http://www.meijoken.com/>



▲「活動報告」ページ
活動内容が分かります。



▲「実践例一覧」ページ
授業作りに生かれます。

「名情研の活動って？」
「ICTを生かしたい！」
「実践が見たい！」

「名情研Web」では、名情研会員以外の方にも役立つ情報を発信しています。

名情研

検索

